

図書館だより 5月号

令和5年5月発行
阿波高校図書委員会



新着図書

総記	奇跡のフォント	高田 裕美 // 著
哲学	手の倫理	伊藤 亜紗 // 著
歴史	なんにもなかった 拾遺集戦後編	暮しの手帖社
	戦争が立っていた 拾遺集戦中編	暮しの手帖社
	戦中・戦後の暮しの記録	暮しの手帖社
	日本史を暴く	磯田 道史 // 著
社会科学	戦時下のくらし	小泉 和子 // 監修
	リスクの正体	神里 達博 // 著
	死刑のある国で生きる	宮下 洋一 // 著
	マスメディアとは何か	稲増 一憲 // 著
自然科学	戦下のレシピ	斎藤 美奈子 // 著
	脱スマホ脳かんたんマニュアル	アンデシュ ハンセン // [著]
産業	ボクはやっと認知症のことがわかった	長谷川 和夫 // 著
読み物	タカシ大丈夫な猫	苅谷 夏子 // 著
	やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。結(1・2)	渡 航 // [著]
	ネット右翼になった父	鈴木 大介 // 著
	戦争と平和	トルストイ // [著]
	アンナ・カレーニナ	トルストイ // [著]
	成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈 // 著
	街とその不確かな壁	村上 春樹 // 著
	カラスは言った	渡辺 優 // 著

図書館からのお知らせ

○大学入試小論文頻出図書リスト発行

過去5年間の大学入試小論文に出題された図書の中から、出題回数の多い本をリストにして貸出しをしています。何を読んでいいのかわからない人は、まずこのリストからいかがでしょうか？



○33HR図書委員のオススメ！

「ロード・エルメロイⅡ世の事件簿 case. 魔眼蒐集列車」
レール・ツェッペリン

TYPE-MOON // 原作 三田 誠 // 著

この作品はミステリーだが、ただのミステリーではない。

物語の舞台はイギリスのロンドンにある『時計塔』。『時計塔』は世間に隠れて生きる魔術師たちの総本山であり、魔術世界の中心でもある。そして『時計塔』に存在する12科の学科のうちの1つである現代魔術科。そこで君主を務めるエルメロイⅡ世が魔術師達の起こす様々な謎を紐解き、魔術師としての視点を活かして解決していく。今回紹介するのは、2019年にアニメ化もされた『ロード・エルメロイⅡ世の事件簿 case. 魔眼蒐集列車』です。そもそも魔術とはなにか。魔法となにかが違うのか。と思う人も多いはずなのでその定義について型月世界での定義を(自己)解釈して解説していきます。

現代化学でも結果を再現可能なのが魔術。(火を付けるなど)

現代化学では結果を再現できないものが魔法。(テレポートなど)と定義されているらしい。例えば魔術を使い、火を付ける場合、火を付けたという結果を成立させる為に魔力を使って火を付ける過程を奇跡という形で成立させることが出来るらしい。

かなり脱線しましたが、この作品はコミックスもアニメ化もしているので、そちらを先に見てからでも原作も読んでみたいと思っただけなら嬉しいです。



○33HR図書委員のオススメ！

「ようこそ実力至上主義の教室へ」 衣笠 彰梧 // 著

舞台は、就職率・進学率ともに100%の高度育成高等学校。入学すれば、勝ち組と思われていたが、なんと100%の恩恵を受けられるのは、A、B、C、DのクラスのAクラスだけであった。主人公、綾小路清隆は一番下のクラスのDクラス。Aクラスに上がるためには、学校側が不定期に開催する特別試験でクラスポイントを競う必要がある。しかし主人公は全くやる気がなく無表情、まるで機械のような生徒。そんな主人公だが、僕が一番好きなキャラクターでもある。なぜこんな主人公が好きなのか。それはぜひ自分で読んで確かめてほしい。本当の平等とはなんなのか。主人公の内に秘められたものとは。

